

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学独文学研究室
Publication year	1995
Jtitle	研究年報 (Keio-Germanistik Jahresschrift). No.12 (1995. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN1006705X-19950331--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目 次

物語世界からの失踪——詩的リアリズムの小説における閉鎖性と省 筆の技法について——その1.....横 井 展 1
ツェラーンとハイデガー——詩作と思索のあいだで——関 口 裕 昭 20
現代ドイツ語の過去形と現在完了形に関する語彙レベルからの一考 察——特に過去形の出現優位性について——伊 藤 み どり 46
hôchmuot と hôher muot について堀 江 仁 美 70
<small>けんによ</small> 賢女と妖精, そして魔女——グリム・メルヘンの書き換え——大 淵 知 直 92
言語化された世界からの脱出——ヘルムート・ハイセンビュッテル とコンクレーテ・ポエジー——.....糸 川 麻 里 生 112
聖と俗——『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』の時間と空間 ——その1石 原 あ え か 125
テキスト＝マシーン——ハイナー・ミュラーの『ハムレットマシー ン』におけるレトリック——平 田 栄 一 朗 151
現代ドイツ語における名詞の属格語尾について——語尾 -s と -es の 使い分けに関する傾向——板 倉 歌 166